

学と提携して、純機械的に索引を作る方法を考えておられるという。それができれば申し分はない。しかしその実現になお相当の月日を要するとすれば、現在の時点において何をなすべきであろうか。まず現在の索引編纂事業とその当事者に対して、経済的にも精神的にももつともつと支援がなされねばならない。編纂に当るものを縁の下の力持ちにしておくべきではないし、またその献身的努力にのみ期待するのは合理的ではない。当事者の労が大きいだけに、慰労はさらに大きくあるべきであり、こういう事業に対する社会全体

の支援、なかんずく学界の眞に精神的な支援と、政府や財界の経済的な支援とによつて、当事者が誇りをもつて能率的に仕事を進められるような環境を、少しずつでも作つてゆかねばならないと思う。

(B5一〇七八頁 昭和三五年三月 京都大学人文科学研究所刊) (川勝義雄)

会 告

すでに御承知のことと存じますが、本年七月実施を目標に、郵便料金の値上案が国会に上提されようとしております。値上案によりますと、「史林」の場合、現行一部当り一六円が実に四〇円となり、史学研究会の財政に文字通り破壊的影響を与えることになり、まして、史学研究会の主唱により下記学協会各位の賛同を得て、日本学術会議に要望書を提出いたしました。日本学術会議では幸いにも要望をいれられて種々活動をはじめておりますが、会員各位におかれましても、事態をよく認識され、要望書の実現に御協力下さいますようお願いいたします。

会 員 各 位 史 学 研 究 会

要 望 書

このたび発表された郵便料金改正案によれば、我々の学協会機関誌の郵送料は、大幅値上げが予定されている。これは、学協会の運営に深甚なる打撃をあたえ、学問研究の発達を阻害するものである。よつて、学協会機関誌の郵送料負担が現状以上に増大しないよ

う、日本学術会議において善処されんことを要望する。

(説明) 改正案によれば、第三種郵便物(月刊誌等)は五〇%、第五種郵便物(隔月刊・季刊誌等)は実に一五〇%の値上げが予定されている。原案通り実施されるならば、各学協会の経理は重大な影響をうけ、とくに隔月刊・季刊等第五種郵便で発送する機関誌を発行している学協会にあっては、致命的打撃をうける。例を史学研究会の「史林」(隔月刊A5判一六〇頁約一九〇グラム)にとるならば、現行一六円の郵送料は一躍四〇円となり、二四円の値上がりとなる。近時の印刷代の値上がりといえども一部あたり数円にすぎないのである。この結果、四円の値上がりを見るのである。この結果、予定される郵送料は会費(一部当り一五〇円)に対して二七%を占めるにいたり、もはや学会の経常費をもつては支出不可能である。以上の「史林」の例は、同一の割合を以て各学協会に妥当することはいうまでもなく、改正案が原案通り実施されるならば、各学協会は何れもその運営に深甚なる影響を蒙るのである。ここに、下記学

協会一同の名において、善処されんことを要望するものである。

昭和三十六年一月二十一日

代表者 京都大学文学部教授

井上智勇

- 大阪歴史学会
- 大谷史学会
- 京都大学経済学会
- 京都大学国文学会
- 京都大学法学会
- 京都女子大学史学会
- 基督教研究会
- 史学研究会
- 人文地理学会
- 同志社大学経済学会
- 同志社大学商学会
- 同志社大学人文学会
- 同志社法学会
- 東洋史研究会
- 日本史研究会
- 日本西洋史学会
- 日本中国学会
- 仏教史学会
- 文化史学会
- 立命館大学人文学会

- 立命館大学日本文学会
- 龍谷大学史学会
- 龍谷大学国文学会
- 龍谷大学社会学会
- 龍谷大学真宗学会
- 龍谷大学仏教学会
- 日本學術會議會長
- 和達清夫 殿

III 編集後記 III

まずはじめに、大変おそくなりましたこと
をお詫びいたします。予定通りお手許にと委
員一同大いに気をもみましたが、何分にも印
刷所の事情どうにもならずかくはおくれて
しまいました次第で、あしからずお許し下さ
いますよう。ところで印刷の事情と申します
と、御承知の方も多しと思いますが、諸物価
の上昇が反映して最近約二割強の値上がりを
みております。加うるに別項のような郵税の
値上がり企図され、昭和三十六年度は、史
学研究会にとつて大きな危難の年となりそ
うです。もとより私どもとしましては全力をあ

げて克服の方途を見出す覚悟ですが、会員の
皆様も、事態をよく認識いただき、一層の御
協力をお願いする次第です。
先号でもお知らせいたしましたとおり、本
誌の論文、研究ノート類の掲載は、日本史・東
洋史・西洋史・地理学・考古学の順、各学科内部
は時代・地域順とすることになっております。
なお、書評・紹介もこれに順じます。念のため、
もう一度申し添えます。(横山裕男)

一九六一年二月二五日印刷
一九六一年三月一日発行
定価一八〇円

史 林 (第四四巻第二号)

発行所 京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

史 学 研 究 会

理事長 振替京番五一五五番
宮崎市定
編集主任 赤松俊秀

印刷所 京都市下京区西七条御所ノ内東町三九
中村印刷株式会社